

◆◆◆ 平成 22 年度予報技術者のための講習会を開講しました

平成 22 年度の「予報技術者のための講習会」のうち、「実践予報技術講習会」基本コースを 5 月 12 日(水)から開講いたしました(6 月 2 日(水)まで全 4 回)。

この講習会は、観測・予報資料の見方や観測・予報資料を用いた気象現象の解析を実習するものです。定員いっぱいの 20 名の方が受講されており、予報技術の習得やスキルアップを目指される方の関心の高さがうかがえます。

また、6 月からは「実践予報技術講習会」実践コースや「新予報技術講習会」季節予報コースを開講いたします。

各コースの概要は以下のとおりです。



「実践予報技術講習会」基本コースの授業の様子

【実践コース】

開講日： 6 月 9 日(水)、16 日(水)、23 日(水)、30 日(水) (4 回) 19 時から 21 時

会場： 東京都千代田区神田錦町 3-17 東ネンビル 4F

内容： 講義期間中に出現しやすい気象現象や過去の顕著事例を用いて、基本コースよりさらに多様な解析方法の実習や各種防災情報の運用について理解を深めていただくものとなっています。

講師： 入田 央 氏 (元 気象庁予報官)

受講料： 15,000 円 (税込、教材費込)

【季節予報コース】

開講日： 6 月 16 日(水) (1 回) 13 時 30 分から 17 時

会場： 東京都千代田区神田錦町 3-17 東ネンビル 4F

内容： 気象庁では、季節予報にも重要なインド洋および太平洋西部の熱帯域の海面水温変動と、中高緯度の気象循環や日本を含む世界の天候への影響やそのメカニズムについての調査を行ってきました。

その成果を踏まえて、平成 21 年 7 月から、エルニーニョ監視速報にインド洋及び西太平洋熱帯域の海洋変動の監視・予測情報を加えました。また、平成 22 年 2 月からは、大気と海洋の相互作用を考慮することが出来る大気海洋結合モデルを 3 か月予報及び暖・寒候期予報へ 導入いたしました。

今回、「インド洋および西太平洋熱帯域の海洋変動と天候への影響」をテーマに現役の予報官が、

1 ENSO サイクルと大気循環場の関係

2 熱帯域の海面水温と日本および世界の天候

3 エルニーニョ予測システムおよび季節予報に導入された大気海洋結合モデルの概要

4 季節予報のガイダンスの改善

等について、解説を行います。

講師： 小林 健二 氏 (気象庁地球環境・海洋部気候情報課 予報官)

受講料： 1,900 円 (税込、資料代込)